

会報

全国国公立幼稚園・こども園長会



主な内容

各部・委員会報告

各ブロック活動報告

令和四年度

全国大会「予定」



これからの時代に向けて

歩みを進める

全国国公立幼稚園・こども園長会

会長 箕輪 恵美



新たな扉を開ける

三学期も半ばとなり、会員の皆様には年度末に向けて、コロナ禍の状況を見極めながらすべきことをできる形で行う日々が続いていることと思います。

コロナ禍が長引く中、教育の灯をともし続け、歩みを前に進めようと努めることは、「今まで通り」を見直す必要を私たちに突き付けました。しかし、必要に迫られて知恵を絞り、「今まで通り」を超えてできる形を模索することは、これからの時代にふさわしい、よりよい手立てを創造するきっかけになるかもしれません。現状を

突破するために思考を鋭敏に働かせる中で、何を大切にすべきか、事の本質や価値を見極める貴重な機会になるかもしれません。

多くの園では既に、園行事や園生活の在り方について「今まで通り」を越える工夫をされ、手応えを感じ始めていらっしゃることでしょう。国公幼の活動も、コロナ禍で新たに取り組みだことを次年度に生かそうと考える手始めに、来年度の会議の一部を計画段階からオンライン開催にしました。また、例年、実施している各都道府県会長様方へのアンケートの回答内容や都道府県会長の協議内容を、国公幼の要望活動や国の諸会議で国公幼として発言する際に反映させることに、今まで以上に力を注いでいます。近々では、内閣府の子ども子育て会議、文部科学省の幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会、口頭説明や提出資料の中に生かしました。

世の中だけではなく、教育の世界も次の時代に向けて大きく動いている今、幼児教育に携わる私たちも新たな扉を開けることに前向きに取り

組みたいものです。国公幼の活動も、会員の皆様の英知が国公立の園の条件整備の実現や国のこれからの施策に役立つよう、「今まで通り」を越える工夫に努めたいと考えます。

今、心したいこと

新たな扉を開けるときには変化を伴うことが多々ありますが、勢いに任せて前のめりにならないよう、独りよがりにならないよう、心したいものです。

国公立の園長には各園の経営だけではなく、地域の、そして日本の幼児教育の発展を支える役割も期待されています。その責務を果たすためには、物事を俯瞰して見る目、教育の本質を踏まえて変えるべきことと変えざることを見極める目が必要です。それらの力を高めるためには、これまで幾多の困難を乗り越えて道を切り拓いてきた先達の深い造詣に触れること、同じ志をもつ仲間と切磋琢磨することが有効であると考えます。

国公幼の強みは、時代を超えて日本の幼児教育の発展に深く携わってきた歴史、そして、今の時代を共に歩んでいる市区町村や都道府県内、そして全国の仲間とのつながりです。歴史に学ぶことでこれからの時代に必要なことを見出し、仲間と語り合い学び合うことで新しい扉を開けるにふさわしい園長としての資質に磨きをかけてまいりましょう。